

韓国 の 口蹄疫 全土拡大懸念



韓国南東部で11月末に豚の口蹄疫感染が確認され、首都圏や北東部の江原道まで急拡大、全土に広がる懸念も出ています。【次ページの発生状況をご参照ください】

報道情報では、「韓国の関係省は、発生原因は海外旅行した農業関係者がウイルスを持ち込んだと推定、家畜運搬車両等の移動に伴い拡散したとみている」等とも伝えています。

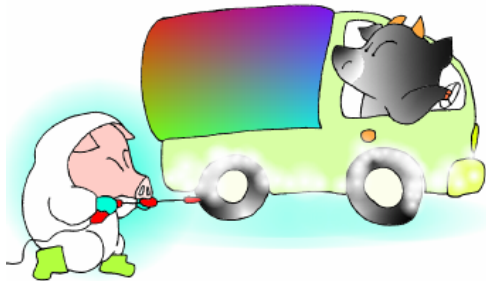


みなさんの農場へ口蹄疫を入れないため、
たいせつな家畜の命をまもるため、
特に次のことを守ってください。

自分の農場に入る際も、靴や持ち込む物の消毒を徹底してください。

外部からの人や車をなるべく農場に入れないでください。

畜産関係車をはじめ農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒してください。



発生国に滞在していたためウイルスを伝播させる可能性がある人や発生国から輸入された物を農場に近づけないでください。また、従業員の方も含めて、口蹄疫が発生している国への渡航は、できる限り控えてください。

口蹄疫を広げないためには早期発見がとても大切です。毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。

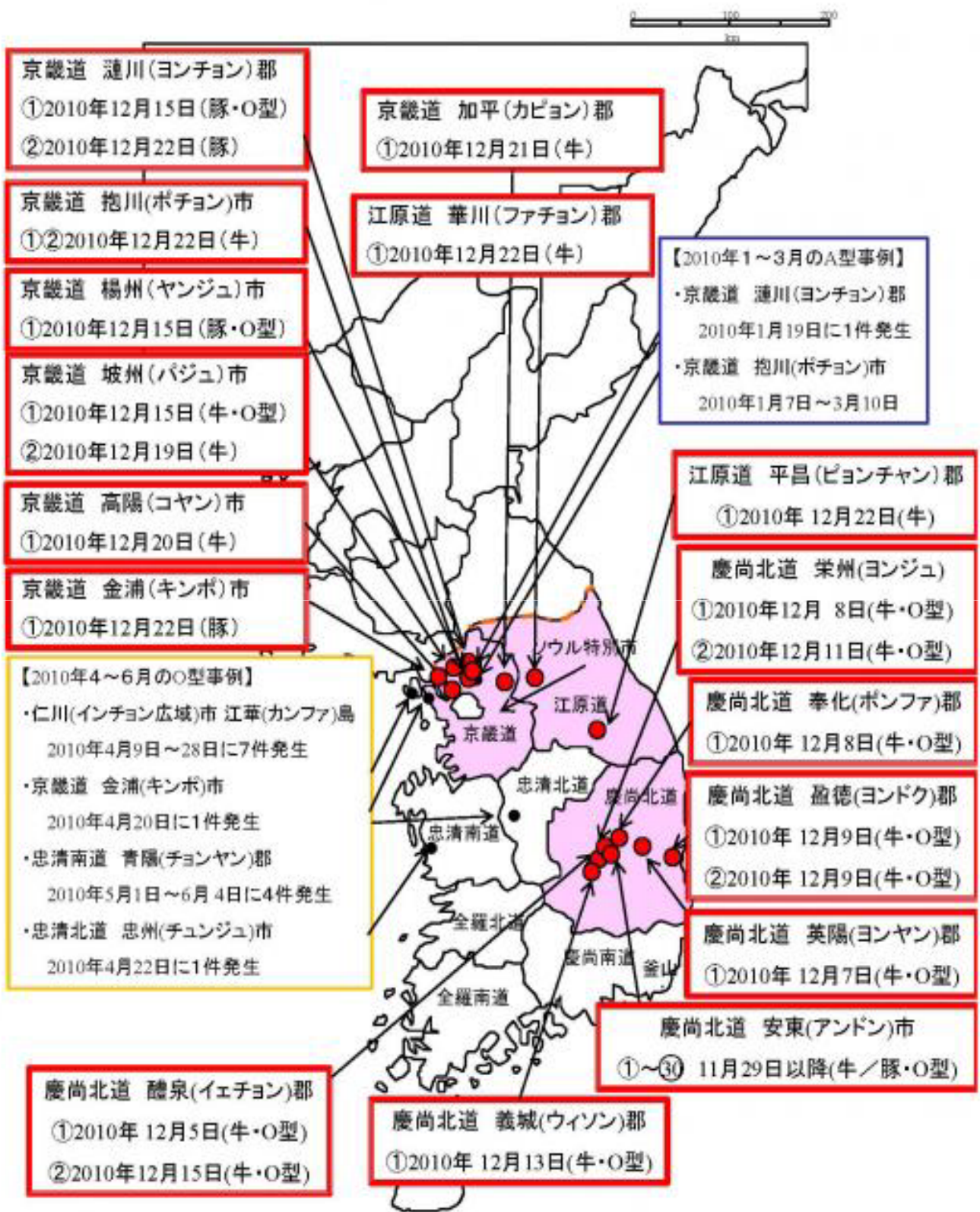
飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

2010年12月22日11時現在

韓国における口蹄疫の発生状況



【2010年12月22日時点の報道情報】

11月29日以降の一連の発生により、

1,289農家の家畜約22万5千頭を殺処分予定

※日付は確定診断された日 ※出典:OIEほか